

歯科インプラントによる

栄養・代謝・体組成の改善

健康寿命を延伸するには

武内歯科医院ではオーラルフレイル(口腔の虚弱)対策のため、**義歯・インプラント**などの補綴治療による**咀嚼機能改善**に取り組んでいます。

まず、奥歯を失い咬む機能が低下すると、
うどん・パン・ご飯など軟性食材(糖質偏重食)が増えます。
その結果、食後高血糖やHbA1c(糖化ヘモグロビン)の上昇につながり、
体重過多・肥満・生活習慣病を招きます。

一方で、咀嚼力が要求される肉類と野菜類の摂取が減る傾向によって、
タンパク質やビタミン・ミネラル低栄養となり、筋肉量が減少して、つまずき・よろめき
などフレイルが進行します。

噛む機能の低下は、カロリーは充足できても栄養摂取が困難です。補綴治療で咀嚼機能を取り戻すことは、**生活の質と
病原体に対する免疫力の向上のために必要**です。



武内歯科の感染症対策

新型コロナウイルスが再拡大する中、感染対策の更なる強化として診療室内と同等の性能を持つ**医療用ヘパフィルター**を待合室に導入しました。

歯科では、特に治療中に排出される飛沫の対策が求められますが、当院では**複数の強力な最新鋭の設備で高レベルな衛生環境を実現**しています。

当院における対策は、多種類・多数の換気装置、口腔外バキューム、医療用ヘパフィルターなどハード面ばかりでなく、
熟練しブラッシュアップされた標準予防策(スタンダードプリコーション)の励行、コロナだけでなく感染症全般の情報を
更新し活かすなどソフト面も徹底して診療に当たっています。

(医学博士 武内博朗)

タウンニュース(海老名・座間・綾瀬版) 2021年1月1日号 掲載